

## 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団2013年（平成25年）度事業報告 〔2013年（平成25年）4月1日～2014年（平成26年）3月31日〕

### 毎日新聞大阪社会事業団、2013年度のトピックス

#### ◎フィリピン台風被災者救援金



2013年11月に発生したフィリピン台風で被災した現地を救援するフィリピン台風被災者救援金募集社告を11月13日付毎日新聞朝刊で掲載。3月末までに933件1,104万円が本団に寄せられた。12月18日に第1次分として次の5団体、合計700万円を贈呈した。国連UNHCR協会（東京都港区）200万円、日本ユニセフ協会（東京港区）100万円、アジア協会アジア友の会（大阪市西区）200万円、日本国際飢餓対策機構（大阪府八尾市）100万円、AMDA（岡山市北区）100万円。公募助成制度からアジア日本相互交流センター・ICAN（名古屋市中区）へ30万円を助成。3月には200万円を国連UNHCR協会へ贈呈した。（写真は、高潮により破壊されたレイテ島タクロバン市2013年12月1日＝アジア協会アジア友の会提供）

#### ◎毎日新聞大阪社会事業団100年史「毎日新聞大阪社会事業団の100年 支え合い



#### 1世紀」の発行

表紙＋124頁、カラー32ページ、モノクロ92ページ。2,000部。高速オフセットが制作。紙面やホームページで告知し、全国の図書館や大学、社会福祉関係者、一般読者などに800冊を贈呈した。

#### ◎東日本大震災 毎日希望奨学金制度



絵は西原理恵子さん

今年度は3月末までに1,604件3,742万円（東京・西部分も含めると1億2,779万円）が寄せられた（2011年からの合計11,266件・6億3,698万円：東京・西部分含む）。

3月13日付毎日新聞朝刊で「毎日希望奨学生を募集」の社告を掲載するとともに被災地の高校や大学などに直接照会をかけた。50人の応募枠に対して130人が応募。5月1日に奨学生選考委員会が開かれ、全員一致で130人に支給が決定。奨学生数は継続者と合わせて241人（高校生145人、短大・大学生59人、専修学校生37人・休学等があり最終数は240人）になり5,766万円を支給した。

(1万円以下は切り捨てて表示しています。)

## 公益事業 1 国内外の福祉に関する事業

(事業種別3, 4, 6, 7, 11, 12, 15)

「社会福祉のために」などと寄せられた一般寄付金は3月末日現在で419件859万円(小児がんを含む・昨年度434件594万円)。歳末の「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」の売上と歳末義援金の合計3,471万円(昨年度2,700万円)、併せて4,330万円(昨年度3,294万円)。毎日新聞社寄付金126万円、「指定寄付金」13万円を加え、受取寄付金総額4,470万円(昨年度3,431万円)となった。これらの寄託金を基に次の事業を行った。

### 児童福祉に関する事業

#### 主催事業

(主催公演事業 事業区分17)

#### ◎「施設児童就職予定者研修会・児童福祉施設から就職する生徒に祝い金贈呈」

(支払負担金より91万円を支出)

大阪府内の児童養護施設から中学、高校などを卒業して就職する生徒を対象に、社会人としての心構えなどを聴く研修会を2月8日、大阪市天王寺区で開催した。また、その会場で大阪府内の児童養護施設から中学校、高校を卒業して就職する91人(全員)に激励の意味を込め祝い金を1人1万円ずつ贈呈。社会福祉法人大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部、大阪府社会福祉協議会と共催。本団は祝い金贈呈を担当。

(研修会は1975年～・祝い金は1962年～)

この他、大阪府社会福祉協議会と大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部共催で本団が後援した自立生活技術講習会(ソーシャル・スキル・トレーニング)が年13回開かれた。

(キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8)

#### ◎「母の日・父の日募金キャンペーン」(支払助成金より37万円を支出)

「プレゼントをあげる親がもういない」という声をきっかけに始まった「母の日・父の日募金キャンペーン」。5月5日、6月14日付毎日新聞紙面で募金を呼びかけ、36万円が寄せられた。この中からNPO法人児童虐待防止協会へ20万円(一般寄付金より1万円補てん)。あしなが育英会に17万円を贈呈。

## 共催分担金事業

(その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分 18)

### ◎平成25年度ゆうゆう（フレンドシップ）キャンプ（支払負担金より 40 万円を支出）

1997 年からの事業で 17 回目。大阪府青少年活動財団、府下の家庭児童相談室と共催し、被虐待児童を対象に、共同生活を通じて自立心や社会性を育てることを目的としている。8 月 12、13 日に大阪府貝塚市の大阪府立少年自然の家で 1 泊 2 日のキャンプを実施。ケースワーカーらを含めて 32 人が参加した。9 月 28 日には大阪府岬町の府立青少年海洋センターで日帰りデイキャンプを実施し、ケースワーカーらを含めて 42 人が参加。カヌーなどマリンスポーツを体験した。11 月にも大阪市此花区の舞洲でデイキャンプを実施した。

### ◎大阪交通遺児を励ます会との近畿地方ボウリング大会

(支払負担金より 60 万円を支出)

6 月 16 日、大阪交通遺児を励ます会と共催。大阪市北区梅田の桜橋ボウルで近畿各地の交通遺児、病気遺児、災害遺児とその家族ら 80 人が交流した。

### ◎第46回ハチ北林間ホーム（支払負担金より 10 万円を支出）

8 月 7 日～9 日。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。大阪市が管轄する児童福祉施設の 6 年生を兵庫県香美町のハチ北高原での 2 泊 3 日の野外学習に招待した。

### ◎第28回駅伝・ロードレース大会（支払負担金より 5 万円を支出）

大阪市が管轄する児童福祉施設の小・中学生 300 人が参加する駅伝ロードレース大会。1 月 25 日、吹田市の弘済のぞみ・みらい園グラウンドで開催。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

### ◎第45回新春こども大会（支払負担金より 10 万円を支出）

大阪市が管轄する児童福祉施設の子どもたちが冬休みに練習した踊りや演劇などを発表する「新春こども大会」を大阪市の天王寺区民センター 2 月 2 日に開催した。大阪市、大阪市児童福祉施設連盟と共催。

### ◎児童福祉施設入所中の児童の職場体験実習

8 月 6 日、10 人の中学、高校生が事業団事務所で DM 封筒の封入など事務作業や毎日新聞社役員応接室などを訪れた。社員食堂で昼食後、新聞印刷など新聞社の見学を行った。

### ◎児童施設に絵を贈る運動

子どもたちの情操教育のために「チャリティー名士寄贈書画工芸作品入札・即売会」に寄せられた中から絵画9点を愛知、岐阜、三重の児童養護施設に贈った。また、3月には岡山県内の児童養護施設5カ所に絵画5点を贈呈した。

#### 児童福祉特定団体助成・支援事業（文末のカッコ内は：支払助成金または経費）

- \* 母子生活支援施設「母と子の一泊旅行」＝7月6～7日、大阪府民間母子生活支援施設連絡協議会の主催。大阪府内の2民間母子寮の母子44人を、和歌山・白浜温泉と白浜アドベンチャーワールドへのバス旅行に招待。本団が単独で助成後援した。（28万円）。
- \* 平成25年度琵琶湖セツルの家＝7月9日～8月30日。大阪市地域福祉施設協議会の主催。滋賀県大津市青柳浜の琵琶湖畔に宿泊施設を開設し、保育所、児童館、子供の家などの利用者に開放。本団が単独で助成後援（8万円）。
- \* 「2013年ふれあいキャンプ」＝8月27～29日。愛の手運動（里親さがし運動）を展開する家庭養護促進協会が主催する小学1年生以上の里子を対象としたキャンプ。徳島県阿南市のYMCA阿南国際海洋センターで。本団が単独で助成後援（18万円）。
- \* 平成25年度「第60回児童福祉施設スポーツ大会」＝8月21日～22日、名古屋市の大高緑地公園野球場（1万円）。
- \* 「第41回北摂養護施設連盟 北摂子ども大会」＝12月1日、北摂養護施設連盟主催。北摂地域の児童養護施設などに暮らす子どもたちのスポーツ大会。茨木市公園（北）グラウンドで開催。本団が助成、後援（10万円）。

#### 医療福祉に関する事業

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

##### ◎「小児がん征圧キャンペーン」（支払助成金より280万円を支出）

毎日新聞社と展開しているキャンペーン「生きるー小児がんのこどもたちとともに」と連動した「小児がん征圧募金」は4月～2014年3月末までに105件319万円が寄せられた。（1996年からの継続事業）

本団は3月12日に贈呈式を開き、次の6団体に280万円を贈呈した。

- ・チャイルド・ケモ・ハウス（神戸市）50万円
- ・日本クリニクラウン協会（大阪市）50万円
- ・近畿小児がん研究会（吹田市）50万円
- ・京都大学医学部附属病院小児科ボランティアグループ  
「ここにトマト」（京都市）50万円
- ・京都ファミリーハウス（京都市）50万円

- ・あいち骨髄バンクを支援する会（名古屋市）30万円

## 高齢者福祉に関する事業

### 主催事業

（助成「応募型」）事業 事業区分 13)

#### ◎配食サービス車贈呈事業（支払助成金より車両費用165万円を支出）

国際高齢者年の1999年から始めた「配食サービス車贈呈事業」は、3月から毎日新聞紙面などで一般公募し8団体からの応募があった。6月に外部の選考委員による選考委員会がありNPO法人地域福祉を支える三重の会「三重まごころ」に決定。8月29日に三重県津市のNPO法人地域福祉を支える三重の会「三重まごころ」で贈呈式を開き配食車1台を贈った。

## 心身障害者福祉に関する事業

### 共催分担金事業

（その他特定団体や弱者への救援事業 事業区分 17.18)

#### ◎第16回視覚障害者ICT・サポートボランティア講習会

（支払負担金より30万円を支出）

1997年度からの事業で日本ライトハウス情報文化センターと共催。視覚障害者の情報環境を支える機器（インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー）を利用する視覚障害者に操作方法などを教える指導者養成のための講習会を5月～2014年3月の毎月1回、全10回を開講。社告で受講者を募集。ボランティア各回24人が受講。

#### ◎第26回専門図書点訳・音訳講習会（支払負担金より100万円を支出）

専門図書の点訳、音訳の技術を修得するための講習会で、日本ライトハウス情報文化センターと共催。専門点訳は「試験問題（中学用）」。専門音訳は「音声解説」「図表」「音声表現技術」（基礎編・会話文の読み方編）コースを開講。受講後は点訳・音訳ボランティアとして活躍してもらう。

- ・専門点訳講習会「試験問題コース」7月4日～9月5日。全5回。15人。
- ・専門音訳講習会「図表コース」6月5日～7月10日。全6回。15人。
- ・専門音訳講習会「音声解説コース」7月19日～8月30日。全6回。20人。
- ・専門音訳講習会「音声表現技術コース・基礎編」2014年3月5、13日。

2回。各日 40 人。

- ・ 専門音訳講習会「音声表現技術コース・会話文の読み方編」3月 18、19、  
20 日。3回。各日 10 人。

◎2013年度「声の点字毎日」の発行を助成（支払負担金より 10 万円を支出）

全国の国立ハンセン病療養所で生活している視覚も皮膚感覚も失った人たちに点字新聞を発行する点字毎日の「声の点字毎日デイジー版（月 2 回発行）」を寄贈する事業。費用の内、東京・西部社会事業団とともに 10 万円を分担した。

（表彰、コンクール事業 事業区分 14）

◎「全国盲学校弁論大会」（支払負担金より 20 万円を支出）

第 82 回全国盲学校弁論大会が 10 月 4 日、宮城県立視覚支援学校で開かれ、茨城県立盲学校高等部普通科 2 年の山口凌河さんが優勝した。毎日新聞社点字毎日、全国盲学校長会と共催。本団は 2002 年度から共催に加わった。（1928 年～）

心身障害者特定団体助成・後援事業（文末のカッコ内は支払助成金）

- \* 「第38回わたぼうし音楽祭」＝8月4日、奈良市の奈良県文化会館で開かれ、わたぼうし大賞に川崎市の福井聖子さん（35）作詩、神奈川県藤沢市の山崎芳寿さん（27）作曲の「明日（みらい）」が選ばれた。奈良たんぼぼの会主催の同音楽祭を毎日新聞社とともに本団が助成後援した（20 万円）。
- \* 「第41回愛知心理療養キャンプ」＝8月18～23日、愛知県蒲郡市のホテルボンセジュールで。助成後援した（3 万円）
- \* 「第28回全国盲学校野球大会」＝8月21～23日、石川県金沢市専光寺ソフトボール場で開かれた同大会に助成後援した（10 万円）。
- \* 名古屋市視覚障害者協会が発行する機関紙「のぞみ」第34号発行＝発行費用を助成した（3 万円）。

その他目的を達成するために必要な事業

（助成〔応募型〕事業 事業区分 13）

◎「公募福祉助成金制度」（支払助成金より 155 万円を支出）

国内外の地域で福祉活動に取り組む団体や先駆的事业でどこからも援助先がない団体への一般公募の事業助成金制度。2011 年度から児童福祉施設のアフターケア事業に取り組む団体に助成する「100 周年記念事業特別枠」を設け 11 月 7 日に紙面で告知。1 月 30 日に選考委員会を開催。下記の 5 団体に総額 155 万円を贈呈した。

〈公募福祉助成金〉

- ・ 響きあう命のカー難病・障害児者と関わる人の会 兵庫支部（西宮市）30 万円
- ・ ベーチェット病友の会 大阪府支部（大阪市生野区）4 万円

〈100周年記念特別枠〉

- ・大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部（大阪市天王寺区）50万円
- ・社会的養護の当事者推進団体なごやかサポートみらい(名古屋市北区)49万円
- ・就労支援事業サポートいずみ（名古屋市昭和区）22万円

（表彰、コンクール事業 事業区分14）

◎「毎日社会福祉顕彰」（支払負担金として168万円を支出）

毎日新聞大阪社会事業団創立60周年記念事業として始め、43回目。社会福祉の分野で献身的な活動をしている個人、団体を顕彰する。毎日新聞紙面などで公募し5月末に応募を締め切り、厚生労働省や大学教授らからなる審査会を経て次の3団体が選ばれた。贈呈式は10月9日、毎日新聞東京本社で行われ、賞牌と賞金（1件につき100万円）を贈った。（1971年～）

◇認定NPO法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク＝山田不二子理事長  
（神奈川県伊勢原市）

児童虐待防止を目的に1998年伊勢原市で発足。弁護士や児童福祉司らが電話で相談に応じる。性虐待を受けた子どもに児童相談所や警察、検察が事情を聞く際、子どもにトラウマなどを招く可能性がある。こうした「司法面接」の研修が活動の大きな特色。

◇濱田多衛子さん＝社会福祉法人別府光の園理事長（大分県別府市）

濱田さん自身も「光の園」卒園者で創設者の意志を継いで第2代施設長になり保育所、学童クラブ、児童家庭支援センターなどを併設する子育て支援拠点を築いた。理事長となった今も子どもたちと寝食を共にする。

◇一般社団法人 奈良親子レスパイトハウス＝富和清隆代表理事（奈良市）

自宅で暮らす難病児とその家族たちに、家族と一緒に楽しい時間を過ごしてもらおうサービス「親子レスパイト」を提唱。約3年間で約30家族を東大寺大仏殿拝観や若草山散策に招待。難病児は人工呼吸器などによる医療的ケアが日常的に必要な場合が多い。親たちの負担軽減にとどまらず、介護・被介護の関係から解放し「親子でいる喜びを実感してもらおう機会」をもたらすことが目的。

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

◎「歳末たすけあい運動」

11月7日～12月25日にかけて「歳末義援金募集」や「チャリティー名士寄贈書画工芸作品 入札・即売会」などの催しを実施。義援金や収益金で歳末慰問金品や公募福祉助成金を贈る。

\*「歳末義援金募集」

社告やこれまでの寄付者へのダイレクトメールで歳末義援金を募った。寄せ

られたのは 772 件 935 万円（昨年 636 件 957 万円）。13 年度の歳末慰問金のほか、13 年度の公益事業 1（国内外の福祉に関する事業）の資金として活用。

**\* 「チャリティー名士寄贈書画工芸作品 入札・即売会」**

11 月 30 日～ 12 月 2 日、毎日新聞ビル地下のオーバルホールで開催。売上は前年度比 263 万円増の 1,986 万円となった。以上の事業の収益から、計 65 万円を歳末慰問金として次の団体に配分した。また、児童養護施設には所蔵絵画 9 点も贈った。（支払助成金として 65 万円を支出）

▽釜ヶ崎支援機構(大阪市西成区)	10 万円
▽大阪更生保護施設連盟（大阪市中心区）	5 万円
▽大阪家庭少年友の会(大阪市中心区)	5 万円
▽聖マツヤ子供の家（児童養護施設・三重県津市）	15 万円
▽暁学園（同・愛知県東海市）	15 万円
▽美谷学園（同・岐阜県関市）	15 万円

**\* 「チャリティー名士寄贈書画工芸作品即売会 P A R T 2」**

2014 年 2 月 11 日、毎日インテシオ 4 階会議室で 6 年ぶりに開催。本団の在庫作品など約 500 点を展示販売。売上は 473 万円となった。

**\* 「第46回歳末たすけあいチャリティー囲碁まつり」**

12 月 15 日、スポーツニッポン新聞社、日本棋院が主催、本団の単独後援、大阪市北区で開催。収益 10 万円で囲碁セット 5 組を製作、漫画「ヒカルの碁」全 23 巻とともに 3 月に岡山県内の 5 児童福祉施設（岡山市善隣館、新天地育児院、わかば園、津山二葉園、みのり園）に贈呈。所蔵絵画各 1 点ずつも贈った。（支払助成金、材料費として 10 万円を支出）

**◎毎日新聞大阪社会事業団100年史「毎日新聞大阪社会事業団の100年 支え合い 1世紀」の発行**（印刷製本費より 156 万円を支出）

表紙+ 124 頁、カラー 32 ページ、モノクロ 92 ページ。2,000 部。高速オフセットが制作。紙面やホームページで告知し、全国の図書館や大学、社会福祉関係者、一般読者などに 800 冊を贈呈した。

**◎機関紙「そよかぜ」の発行**（印刷製本費より 14 万円を支出）

機関紙「そよかぜ」46 号(8,000 部)を 6 月 1 日に発行した。

**◎「指定寄付金事業」**（支払助成金より 13 万円を支出）

寄付金の中で助成先が特定された寄付金。「あしなが育英会に」「愛の手運動に」「伊豆大島等台風 26 号被災者へ」など 25 件 13 万円が寄せられた。



その他の名義後援事業

案件名	とき	ところ
「第11回オンキョー点字作文コンクール」の名義後援について	2013年03月～05月に募集。11月に表彰式	
2013年度「声の点字毎日」の発行分担金について	2013年04月～2014年03月	岡山県の長島愛生園など
「第50回記念全大阪ろう社会人軟式野球春季大会」の名義後援について	2013年04月07日、21日	大阪府久宝寺緑地軟式野球場・大阪市立長居公園野球場
「第33回愛知県聴覚障害者体育大会」の名義後援について	2013年04月14日	愛知県あま市甚目寺総合体育館など。
「第31回日本ライトハウス チャリティコンサート」の名義後援について	2013年04月14日	大阪市北区のザ・シンフォニーホール
「バリアフリー2013」の名義後援について	2013年04月18日～20日	大阪市住之江区のインテックス大阪
関西いのちの電話「電話相談ボランティア養成講座」の名義後援について	2013年04月1日～2015年03月	大阪市淀川区十三元今里3-1-72 社会福祉法人博愛社5階会議室など
「平成25年度愛知県障害者スポーツ大会」の名義後援について	2013年04月27日、05月11、18、19、26日	名古屋市千種区の星ヶ丘ボウル、安城市スポーツセンターなど
「第45回せんりこどもカーニバル」の名義後援について	2013年04月29日	大阪府吹田市の千里南公園一帯
「第10回名古屋市障害者スポーツ大会」の名義後援について	2013年05月09日～11月24日	名古屋市瑞穂公園陸上競技場など
「第61回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会・第33回日本医療社会事業学会」の名義後援について	2013年05月16～18日	大阪市天王寺区の大阪国際交流センター
「第16回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2013～」の名義後援について	2013年05月24日～26日	名古屋市のポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）
「第20回共生・共走りレーマラソン」の名義後援について	2013年05月26日	大阪市鶴見区の花博記念公園
「共に生きる17」の名義後援について	2013年06月08日	大阪府箕面市の市立メイプルホール大ホール
「第12回全国LD親の会 公開フォーラム『特別支援教育の推進 ～一人一人の学びを保障する支援の在り方～』」の名義後援について	2013年06月09日	大阪市中央区の大阪府立男女共同参画・青少年センター(トーンセンター)
「素のままフェスタ2013」の名義後援について	2013年06月15日	大阪府豊中市の市立アクア文化ホール、市立中央公民館
「第24回東海聴覚障害者体育大会」の名義後援について	2013年06月22日～23日	豊橋市総合体育館、陸上競技

義後援について	日	場、豊橋球場など
ボランティア・市民活動体験「ホラ☆チャレ2013」の名義後援について	2013年07月01日～09月30日	大阪市内の児童、高齢者、障がい児者施設や団体など。
「第30回愛知県聴覚障害者大会」の名義後援について	2013年07月07日	愛知県蒲郡市栄の蒲郡市民会館
合同求人説明会「福祉の就職総合フェア2013 in OSAKA」の名義後援について	2013年07月13日	大阪市住之江区南港のインテックス大阪2号館
「公募第34回太洋美術展」の名義後援と賞状の提供について	2013年07月16日～21日	神戸市中央区の兵庫県民会館大展示室
「第63回施設従事者激励会」の名義後援について	2013年07月18日	大阪市天王寺区の「新歌舞伎座」
「第48回全大阪ろう社会人軟式野球秋季大会」の後援と記念盾、賞状の贈呈について	2013年07月21、08月04日	大阪府営久宝寺緑地公園軟式野球場など
「第26回全愛知ろう社会人軟式野球秋季大会 兼 第38回全日本ろう社会人軟式野球選手権大会予選選考会」の名義後援と楯の交付について	2013年07月21、28日、08月04日	愛知県安城市総合運動公園野球場
「第34回子どもたちの讃歌展」の名義後援について	2013年07月23日～28日	大阪市港区の海岸通りギャラリーC ASO
「第30回土と水と緑の学校」の名義後援について	2013年08月08日～13日	和歌山県新宮市の高田地区一帯
「第54回大阪知的障がい者福祉大会(八尾大会)」の名義後援について	2013年09月22日	八尾文化会館プリズムホール
「第50回点字毎日文化賞」の名義後援について	2013年12月10日	毎日新聞東京本社(表彰式)
生き生き長寿フェア2013「はつらつ健康プラザ」の名義後援について	2013年10月05日	愛知県大府市、東浦町のあいち健康の森公園
「第32回スポーツフェスタ2013大阪」の名義後援について	2013年10月19、20、26日	大阪市の長居陸上競技場など
「ファインエリアフェスティバル2013」の名義後援について	2013年10月20日	堺市南区のファインプラザ大阪など
「第61回愛知県社会福祉大会」の協賛について	2013年10月24日	名古屋市中区の愛知県体育館
「第41回全大阪ろうあ者文化祭」の名義後援について	2013年10月27日	大阪市東住吉区の大阪市長居障害者スポーツセンター
「第49回肢体不自由児者を支援するチャリティバザー」の名義後援について	2013年11月09～10日	大阪府八尾市山城町1丁目第1公園(通称:買物公園)
「第58回名古屋市身体障害者福祉大会」の後援について	2013年11月10日	名古屋市熱田文化小劇場

「大阪救護施設合同文化事業」の名義後援について	2013年11月19日	大阪市都島区の「太閤園」迎賓館 3階ダイヤモンドホール
「平成25年度大阪府社会福祉大会」の名義後援について	2013年11月28日	大阪中央区のNHK大阪ホール
「平成25年度医療社会事業従事者講習会」の名義後援について	2013年11月29日	大阪市中央区谷町7丁目の大阪府社会福祉会館
「第20回ノーマライゼーション絵画・創作展」の名義後援について	2013年12月04日～12月07日	大阪市北区の大阪市立総合生涯学習センター
「第53回愛知県身体障害者福祉大会」の名義後援について	2013年12月08日	愛知県小牧市の小牧市民会館
「第31回ふれあいの街・チャリティーバザール」の名義後援について	2014年01月17～20日	堺市堺区の高島屋堺店
「毎日ドクター無料人間ドック」の名義後援について	2014年01月21日～02月08日	名古屋市中村区の毎日ドクター
「第33回『障がいのある子どもに学ぶ』図工展」の名義後援について	2014年01月23～28日	大阪市長居障がい者スポーツセンター
平成25年度 合同求人説明会「福祉の就職フェアWINTER in OSAKA」の名義後援について	2014年02月09、22日	2/9、大阪マーチャндаイス・マート2階（大阪市中央区大手前）、2/22、難波御堂筋ビル7階（大阪市中央区難波）
「第52回衛生教育大阪大会」「第56回公衆衛生大阪大会」の名義後援について	2014年02月12日	大阪市中央区の大阪薬業年金会館
全愛知ろう社会人軟式野球連盟持ち回り優勝カップの更新について	2014年02月12日	
「第19回毎日チャリティーお仏壇まごころ大奉仕会」の名義後援について	2014年02月15～16日	豊中市新千里東町の千里ライフサイエンスセンター
誰もが安心して療養生活が送れることを願って「府民のつどい」の名義後援について	2014年02月16日	大阪市中央区のエル・おおさか
「第48回名古屋市障害者作品展示会」の後援について	2014年02月26～03月02日	名古屋市瑞穂区の名古屋市博物館ギャラリー第1、2、8室。
「第29回肢体不自由児者の作品展」の名義後援について	2014年03月05日～08日	大阪市中央区大手前のドーンセンター1階パフォーマンススペース
「第32回『耳の日記念』聴覚障害者と県民のつどい」の名義後援について	2014年03月09日	愛知県春日井市民会館
「世界ダウン症の日写真展in大阪2014」の名義後援について	2014年03月15日～23日	大阪市北区の梅田スカイビル40階「空中庭園展望台ギャラリー」
「振興センター祭」の名義後援について	2014年03月27～29日	大阪市阿倍野区のあべのハルカス近鉄本店ウイング館 8階街ステーションこもれび広場

## 公益事業 2 シンシア基金事業 (事業種別 3)

(キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分 8)

### ◎シンシア基金

身体障害者をサポートする介助犬への理解を深め、育成や研究活動に役立てるため 1998 年から阪神支局が始めたキャンペーンと連動して募金を開始した。2014 年 3 月末までに寄せられた「シンシア基金」は 36 件 122 万円となった。

#### \* 身体障害者補助犬シンポジウムに助成 (支払助成金より 59 万円を支出)

身体障害者補助犬の社会的認知を促進するため、毎日新聞や宝塚市などで行く実行委員会が主催する身体障害者補助犬シンポジウム (11 月 17 日、宝塚市のアピアホール) 開催経費として支出した。

#### \* 「補助犬同伴可」シールの作成 (印刷製本費より 57 万円を支出)

NPO 法人日本介助犬アカデミーから「補助犬同伴可シール」8,000 枚 (ペット不可 7,000 枚・不可なし 1,000 枚) の現物助成申請があり、本団在庫分も含めて 10,000 枚 (ペット不可 8,000 枚・ペット可 2,000 枚) のシールを作成した。このシールは同アカデミーなどを通じ全国の小売店や飲食店、宿泊施設などに配布される。

(助成 (応募型) 事業 事業区分 13)

### ◎シンシア基金助成事業 (支払助成金より 50 万円を支出)

身体障害者補助犬 (盲導犬・介助犬・聴導犬) 支援に関わる団体などに対する公募助成制度。11 月に紙面で一般公募し、1 月 30 日に選考委員会を開催。次の団体に 50 万円を贈呈した。

- ・ 社会福祉法人日本介助犬協会 (本部は横浜市、訓練センターは愛知県)

◇ 「介助犬フェスタ 2013」に名義後援 = 社会福祉法人日本介助犬協会主催、5 月 18 日、愛知県長久手町の愛・地球博記念公園内、地球市民センター。

## 公益事業 3 災害救助に関する事業 (事業種別 3)

### ◎「災害救援基金事業」

### ◎東日本大震災救援事業

#### \* 東日本大震災被災者救援金 (支払助成金より 500 万円を支出)

今年度は 3 月末までに 188 件 706 万円が寄せられた (総合計 7,369 件 4 億

6,687 万円)。9月に第10次分300万円を日本赤十字社に寄託した。3月に200万円を日本赤十字社に寄託した。新年度も継続する。今回で大阪社会事業団の寄託総額は4億5,527万円になった。

\* **毎日希望奨学金制度**（支払助成金より5,766万円を支出）

東日本大震災で保護者を亡くした震災遺児を支える「毎日希望奨学金」制度を毎日新聞大阪・東京・西部社会事業団、毎日新聞社で創設。奨学金基金への募金を毎日新聞紙面などで呼びかけた。今年度分は3月末までに1,604件3,742万円（東京・西部分も含めると1億2,779万円）が寄せられた。（2011年からの合計11,266件・6億3,698万円：東京・西部分含む）

3月13日付け毎日新聞朝刊で「毎日希望奨学生を募集」の社告を掲載するとともに被災地の高校や大学などに直接照会をかけた。50人の応募枠に対して130人が応募。5月1日に奨学生選考委員会が開かれ、全員一致で130人に支給が決定。奨学生数は継続者と合わせて241人（高校生145人、短大・大学生59人、専修学校生37人）になった。

4月25日、146人（4、5、6月分）876万円を支給。

6月25日、95人（4、5、6月分）570万円を支給。

7月25日、240人（7、8、9月分）1,440万円を支給。1人休学

10月25日、240人（10、11、12月分）1,440万円を支給。

2014年1月24日、240人（1、2、3月分）1,440万円を支給。

合計5,766万円

◇東日本大震災チャリティー「第23回大阪城ジャズフェスティバル」を名義後援＝5月18～19日、大阪府中央区の大阪城野外音楽堂

## 公益事業4 国際協力に関する事業（事業種別 15.16）

（キャンペーン、〇〇月間事業 事業区分8）

### ◎世界子ども救援キャンペーン

おもな事業は、毎日新聞社との共催事業で記者を海外に派遣、帰国後に紙面連載で救援をアピールする「世界子ども救援キャンペーン」。国際児童（1979年）に「飢餓・貧困・難民救済キャンペーン」としてスタートし、アジア、アフリカ地域などに記者を派遣。

2013年2月20日から28日間、西アフリカ・マリからの難民取材などで隣国ブルキナファソに派遣した社会部平川哲也記者と写真部大西岳彦記者の連載「瞳輝くまでブルキナファソ報告」を4月22日朝刊から5回にわたり掲載した。5月20日、

6月20日には見開き特集も掲載した。

また、2013年9月17日から40日間の予定でハイチ地震被害者のその後を取材するために社会部松井聡記者、写真部望月亮一記者を派遣。9月22日、現地で取材中に交通事故に遭い、両記者とも負傷。取材途中で帰国した。

**\* 報道写真展「瞳輝くまで ブルキナファソ報告」開催**

7月3日～9日、大阪市北区堂島1の堂島アバンザ1階エントランスホールで報道写真展「瞳輝くまで ブルキナファソ報告」（カラー写真34枚）を開催。広く一般に救援をアピールした。

**\* 「写真パネルの貸し出し」**

2013年の取材をもとにした貸し出し用写真を1団体に無料貸し出しを（募金を条件に）した。

**◎ 世界子ども救援金**

**\* 「世界子ども救援金」**

読者らから寄せられた「世界子ども救援金(海外の災害救援金を含む)」は1,637件1,844万円（世界子ども救援708件740万円・フィリピン台風933件1,104万円の合計額。世界子ども救援金指定寄付金を除く）。

フィリピン台風の緊急支援、一般公募の「公募助成分」、紙面で掲載された所を中心にした「取材地助成」、これまでの取材地への「継続支援助成分」の4つの助成を行った。

**\* フィリピン台風被災者救援金（支払助成金より930万円を支出）**

2013年11月に発生したフィリピン台風で被災した現地を救援するフィリピン台風被災者救援金募集社告を11月13日付け毎日新聞朝刊に掲載。3月末までに933件1,104万円が本団に寄せられた。12月18日に第1次分として次の5団体、合計700万円を贈呈した。国連UNHCR協会（東京都港区）200万円、日本ユニセフ協会（東京港区）100万円、アジア協会アジア友の会（大阪市西区）200万円、日本国際飢餓対策機構（大阪府八尾市）100万円、AMD A（岡山市北区）100万円。公募助成制度からアジア日本相互交流センター・ICAN（名古屋市中区）へ30万円を助成。3月には200万円を国連UNHCR協会へ贈呈した。

（助成〔応募型〕事業 事業区分13）

**◎ 「世界子ども救援金」公募助成制度（支払助成金より120万円を支出）**

海外での支援活動を行う団体を11月に紙面で一般公募、1月30日に選考委員会を開催。次の5団体に各30万円、総額150万円（アジア日本相互交流センター・ICANはフィリピン台風被災者救援金より30万円を支出）を贈呈した。

- ・マナムニ母子寮関西連絡所（バングラデシュ・チッタゴンにあるマナムニ母子寮での子ども支援）
- ・シエラレオネフレンズ（シエラレオネでの子どもたちの支援活動）
- ・日本国際ボランティアセンター（アフリカ・スーダン、南コルドファン州での大規模紛争による避難民・難民に対する支援プロジェクト）
- ・ネパール・ヨードを支える会（ネパールでのヨード欠乏症に悩む母子への支援）

**フィリピン台風被災者救援金より30万円を支出**

- ・アジア日本相互交流センター・I C A N（フィリピン台風被災者支援）

◎「世界子ども救援金取材地助成」（支払助成金より100万円を支出）

2団体へ総額100万円を贈呈。

- ・国連UNHCR協会（UNHCRマリ難民支援）
- ・日本ユニセフ協会（マリ難民支援）

◎「世界子ども救援金継続支援助成」（支払助成金より30万円を支出）

1団体へ30万円を贈呈

継続支援分

- ・J F S A・日本ファイバーリサイクル連帯協議会（パキスタンカラチのアルカーイルアカデミーを運営する地元福祉協会を支援するNPO法人）

2013年（平成25年）度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2014年（平成26年）5月  
公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

以 上